

今後の南知多町における学校教育（令和4年10月26日現在案）

南知多町教育委員会

1 南知多町が目指す児童生徒像

郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒

南知多町の学校教育では、子どもたちが安心して学習できる環境の中で、学校・家庭・地域が連携して「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を基盤とした「生きる力」を育む。そのために、地域の歴史・文化・伝統を学び、生まれ育った郷土に誇りをもてるようにし、成長とともにより多くの人たちとの出会いの中で視野を広げ、心身を鍛え、豊かな心と人間性を培い、社会の形成者としての資質を備えた人を育てる。

2 基本的な小中学校の教育体系

縦横連携教育 ～ 南知多町全体を一つの学びの場とする

縦 … 小・中学校間だけでなく、保育所・高校・大学なども含めた異校種間連携

横 … 他的小・中学校、特別支援学校、家庭、地域、各種施設・団体との連携

※ コミュニティースクールを導入し、教育活動を地域が支える体制づくりをする。

※ 子どもたちが広く町全体で学び、活動できる環境づくりをする。

3 小学校での教育

小学校では、家庭から身近な地域へと視野を広げ、生まれ育った地域の歴史・文化・伝統を学ぶとともに、町内他地区のことを学び、各地区同士の関わりや歴史についての理解を深める。さらに、高学年では小学校間の交流を通して中学校生活への準備をする。

教育課程についても各小学校間での連携を深め、各地区の特性を生かしつつ、言語環境の充実をはじめ、町として身に付けさせたい力も考慮して計画・推進する。

- (1) 生活科の1年生で「家の中の仕事」について学び、2年生では地域のいろいろな施設や人々について学ぶ。さらに、3・4年生社会科では副読本「みなみちた」を活用して他地区について知る。これらの学習の発展として公共交通機関を利用して町内他地区へ出かけ、名所や施設等を見学して町内各地の歴史や文化への理解と郷土への愛着を深め、生涯学習への素養を育む。（文化財保護委員会、郷土研究会との連携）
- (2) 5・6年生では、それまでの学習を生かして地域への情報発信をするとともに、地域の一員として各種行事への参加を勧める。
- (3) 4～6年生では、小学校体育大会等でスポーツ交流を図る。あわせて、小学校部活動や大会の在り方などを検討していく。
- (4) 林間学校や修学旅行は複数校合同で実施し、交流を図る。
- (5) オンラインによる授業交流や児童会交流を進める。
- (6) 学校評議委員会制度を活用する中で、コミュニティースクール導入を検討する。

4 中学校での教育

他地区の生徒との交流を通して南知多町全体への学びを深めるとともに、本町と関わりのある市町村について知る。そして、本町の良さとともにその課題を知り、町の将来について考える中で未来の創り手としての資質、能力を身に付ける。

様々な教育活動の中で高校や大学、特別支援学校等との連携を通し、多くの人との関わり合いから視野を広げ、自分自身の将来について考える。

南知多中学校 <略称：^{なんちゅう}南中…天文用語では、太陽などの天体が真南に来ること>

(1) 校 訓 「 創 造 」

(2) 教育目標 「 自己を 人の和を 社会を 創造する生徒を育てる 」

(3) 目指す生徒像

「 郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい生徒 」

(4) コミュニティー・スクールを導入し、各地域と中学校との連携を強化する。

(5) 南知多町の大きな特徴である「海」と「里山」、「人の営み」を活用した教育を進める。

(6) 町が交流している八百津町（岐阜県）や下諏訪町（長野県）について学び、条件が整った段階で、1年生夏の野外教育活動場所とする。（2泊3日、令和7年度からの目標）

○八百津町（杉原千畝記念館・兼山ダム・五宝滝など）

○下諏訪町（諏訪湖・諏訪大社・八島ヶ原湿原など）

(7) 南知多町の産業（漁業・農業・観光業など）とその振興、防災、福祉、伝統文化等について、深く学ぶ機会を工夫する。

(8) 地域の担い手、創り手として、地元地区のサミットや行事への参加を図るとともに、学習成果を地域に生かす工夫をする。

(9) スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、生徒の悩み相談、不登校対策、各家庭の支援などを充実させ、小中学校間での指導の連続性を図る。

(10) 学校祭を中学生の各種発表の場とするとともに、地域諸団体と連携し、生徒や保護者が南知多町をより深く学ぶ機会としたい。

・文化協会との連携（協力いただける団体の作品展示、発表など）

(11) 部活動について

① 部活動は、希望者参加制とする。

② 設置する部活動について

（ ）は今年度の拠点施設、令和5年度以降については現状を考慮しながら調整中。

男女共通 … 野球（豊浜中）、サッカー（内海中）、卓球（内海中・師崎中）

美術（内海中）、吹奏楽（師崎中）、剣道（師崎中）

男 子 … バレーボール（内海小）

女 子 … バスケット（内海中）、バレーボール（師崎中）

③ 個人種目で中小体連の大会があるものについては、個別に参加する。

④ 朝練習は基本的には行わない。土日の活動は、原則どちらか1日のみとする。

⑤ 休日の活動を段階的に「地域部活動」とする準備を進める。（平日は「学校部活動」）

5 保育所・高校・大学との連携

- (1) 教員や保育士の交流を深め、保育や教育の実情をお互いに学び合う。
- (2) 中学生の希望者は、保育所で職場体験をしたり、家庭科の時間に保育実習をしたりする。
- (3) 年長児は、事前に小学校で生活体験をし、保・小間の連携を図る。
- (4) 各分野で、近隣高校（内海高校や日本福祉大学付属高校等）との連携を図る。
 - ・部活動、進路学習、文化交流など
 - ・体育の水泳指導は、内海高校のプールを使用する。
- (5) 部活動や体育の指導に関しては日本福祉大学スポーツ科学部と、特別支援教育、不登校対策や保護者の子育て支援などは教育・心理学部との連携を図る。
- (6) 小中学校は、大学生の教育研究活動や学校現場での体験実習に協力する。

6 推進組織と各課との連携

- (1) 統合後の推進組織をつくる。（コミュニティー・スクール導入、地域学校協働本部設置）
- (2) 企画財政課との連携
 - 学校施設の活用（地域の意見を参考にしながら公共施設等再配置計画作成）
 - 八百津町、下諏訪町での野外教育活動の計画（日程調整、生徒移動、宿泊施設等）
- (3) まちづくり推進室との連携
 - 海っ子バスのダイヤ、ルートの検討（平日登下校時・休日部活動時の船との接続等）
 - 小学生の海っ子サポーター事業推進
- (4) 建設課との連携
 - 新校舎建設の準備（学校用地確保、設計等、通学路の安全確保）
- (5) 社会教育課との連携
 - 文化財等の整備及び文化協会、文化財保護委員会、郷土研究会との連携
 - スポーツ団体との連携（地域部活動への移行準備、スポーツ団体活動紹介）
- (6) 健康子育て室との連携
 - 特別支援教育、教育支援体制等の充実と情報共有
 - 放課後児童クラブとの情報共有と施設管理
- (7) 産業振興課との連携
 - 南知多町の産業（漁業・農業・観光業など）を学ぶための教材や支援体制の整備
- (8) 防災危機管理室との連携
 - 災害時の対応、地域防災体制との連携、防災学習整備

7 南知多中学校開校に向けて

(1) 登下校時の安全確保

- 登校に利用する船は、チャーター便とする。下校時の船については、定時のチャーター便に加え、部活動や行事などで下校時刻が変わる場合は、定期便も利用する。
- 安全な通学方法を個々に検討する。(山海地区生徒の定期バス通学も可能)

(2) 保護者の行事参観時

- 保護者来校時の駐車場を確保する。
- 両島生徒保護者との懇談会などは、開催方法を工夫する。(オンライン活用)
- 保護者来校時、自家用車または海っ子バスの一日利用券を使う。(定期船とバスとの接続改善必要)

(3) 警報発表時の対応

- 暴風警報発表の場合は、臨時休校とする。
- 定期便欠航時、島で授業を受けられる手立てを整備する。(遠隔授業実施準備・A I ドリル活用など)
- 強風波浪警報等で海上交通の安全が確保できないと判断した場合、両島の生徒は島内公共施設または自宅で遠隔授業を受ける。(名鉄海上からの情報を基に学校と教育委員会が協議・判断するが、最終選択は保護者がし、出席とする。)
- 登校後に高速船が欠航した場合、内海地区旅館組合指定の宿泊場所を利用する。

(4) 南知多中学校の学用品について

ア 制服

- 令和5年度開校時、現在、使用している制服を使用し、女子のリボンをエンジ色に統一する。(令和7年度以降の制服変更についての協議を進める。)

イ ジャージ等体操服

- 新1年生のジャージや体操服は、順次、小中学生が選定したものにしていくが、令和7年度までは移行期間として現在のジャージ等体操服も使用できる。
- 新2・3年生の体操服については現在使用しているものとするが、衣料品店での在庫が無くなってしまった場合には新体操服とする。
(令和8年度から新体操服に統一する予定)

ウ 体育館シューズ

- 内海・豊浜・師崎中で使用しているもの(型は同じでラインの色だけ異なる)とし、現段階では色の指定をしない。(令和8年度からラインの色を統一する予定)

エ 正カバン・サブバッグ

- 町内指定衣料品店で購入したものに、町から配付する「南知多中学校」名入りの札を付けて使用する。
- サブバッグは、実際に学校生活を送る中で必要であれば町内衣料品店で購入するものを利用し、統一はしない。

オ 上靴

- 現在、町内中学校で使用している上靴をそのまま使う。